

住みやすく 魅力と活気あふれる 愛のまち

第5次
湯梨浜町
総合計画
概要版

出愛

ふれ愛

支え愛

総合計画とは

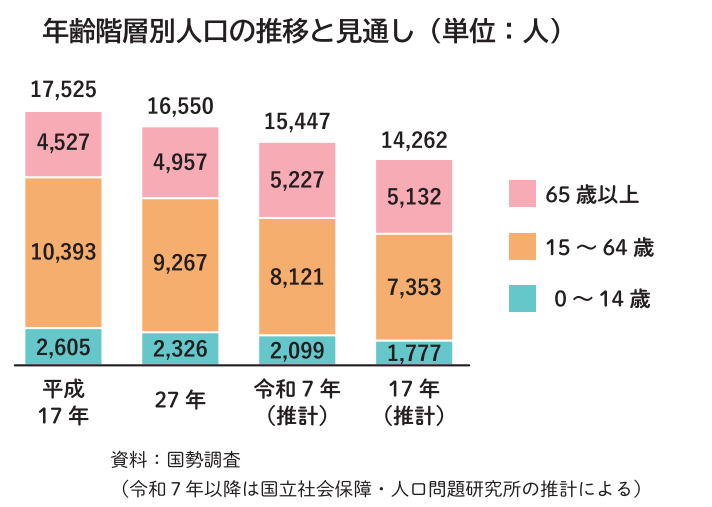
総合計画は今後のまちづくりの指針となるもので、将来のまちの姿やまちづくりの基本的な方向性を示し、それを実現するための施策を定めたものです。
住民のみなさんや事業者など本町に関わるあらゆる方々が、そのビジョンをみんなで共有し、まちづくりを共に進めていきます。

社会の変化と課題

社会の動向を的確に見極め、固定観念や前例にとらわれず、継続的に新たな挑戦を続けていくため、次の5つの大きな潮流をあらゆる分野の根底にある共通の課題とします。

1 人口減少・超高齢化

人口および世帯構造の変化は、労働力人口の減少、社会保障費の増大、空き家の増加、地域社会の担い手不足など、生活のあらゆる場面に深刻な影響を及ぼす可能性があります。
世帯構成にも変化が見られ、単身世帯や夫婦のみの世帯の割合が増加しており、社会的に孤立する世帯の増加が懸念されます。



2 少子化

少子化の流れに歯止めをかけるためには、地域全体で子ども・子育てを支えていく社会の実現に向けた取組が重要です。思いやりに満ちた地域の中で、子どもを持ちたいという一人ひとりの希望が尊重され、安心して出産・子育てができる環境の整備が求められます。

3 ウェルビーイング

物質的な豊かさから生活の質や心の豊かさを重視する価値観への転換が進んでおり、社会的な豊かさや生活満足度の向上に焦点が当てられています。

4 共創社会

人口減少や高齢化による人手不足や、地域社会における課題の多様化・複雑化への対応が急務です。町民や事業者、大学、各種団体など、多様な主体が連携し、それぞれの強みを生かしながら、共に地域課題の解決に取り組む「共創」の姿勢がこれまで以上に求められます。

5 DX・デジタル社会

買い物や各種手続などのオンライン化・キャッシュレス化、スマートフォン一つで多くのことができるなど、社会全体でデジタル化への動きが加速しています。一方、デジタルデバイド（情報格差）の拡大が懸念され、多くの人々がデジタル技術の恩恵を享受できる社会を実現していくことが求められます。

計画実現に向けて

人口減少や社会構造の変化により、家族や地域が持っていた支え合いの機能が弱まりつつあります。本計画では「出愛・ふれ愛・支え愛」という3つの「愛」を基本に位置づけました。多世代が手を取り合い、誰もが地域社会で孤立することなく、自立して生きがいを持ち「湯梨浜町に住んで良かった」と思えるまちを、皆さんと築いていきます。

1 若者・女性の活躍 出愛

誰もが自分らしく生きがいを持って生きられる地域の実現を課題とし、若者・女性にも選ばれる魅力あるまちづくりを目指します。

2 あらゆる世代が安心できる居場所づくり ふれ愛

年齢を問わず誰もが安心して暮らすことができるよう医療・福祉等のサービスやコミュニティの機能を維持します。
また、地域社会からの孤立を防止するため、地域の集いの場などの居場所の確保や地域の自主的な活動の活性化を図りながら、住民同士のつながりを促進します。

3 継続と承継 支え愛

町固有の自然資源を生かした農林水産業の振興や新たな事業の創出を支援します。また、地域の伝統文化を発展させ、農林水産業、観光、食、伝統産業などあらゆる分野が連携・融合し、新たな価値を創造するまちを目指します。

行政経営計画

行政情報を積極的に発信し、本町のまちづくりに対する理解と住民満足度の向上を図ります。
また、人材や財源などの限られた資源を的確に配分しながら、歳入確保や自治体DXの推進、公共施設の維持・整備などを進め、効率的で質の高い行政経営を推進します。

基本理念



基本目標と主な施策

支えあい 安全・安心で住み続けられるまち

- 防災・減災対策の推進
- 防犯・生活安全対策の推進
- 脱炭素・循環型社会の実現
- 情報基盤の維持・整備
- 環境保全・良好な生活環境の促進 など

認めあい 未来と今を創造するまち

- 移住・定住の促進
- コミュニティ活動の促進
- 町民協働・男女共同参画の推進
- 国際交流の推進 など

ふれあい 誰もが健康長寿で暮らすまち

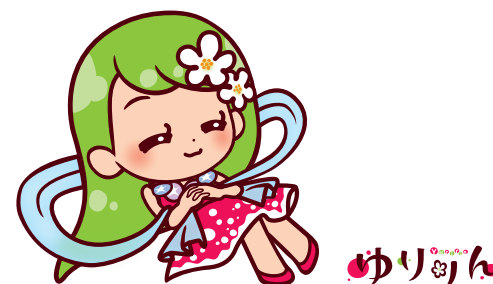
- 少子化対策の推進
- 出産・子育て環境の充実
- 地域福祉の推進
- 疾病予防・健康づくりの推進
- 社会保障制度の充実 など

湯梨浜愛 志を立て共に学ぶひとづくり

- 学校教育の推進と教育環境の充実
- 社会教育、運動・スポーツ環境の充実
- 文化、伝統の継承および芸術・文化の振興 など

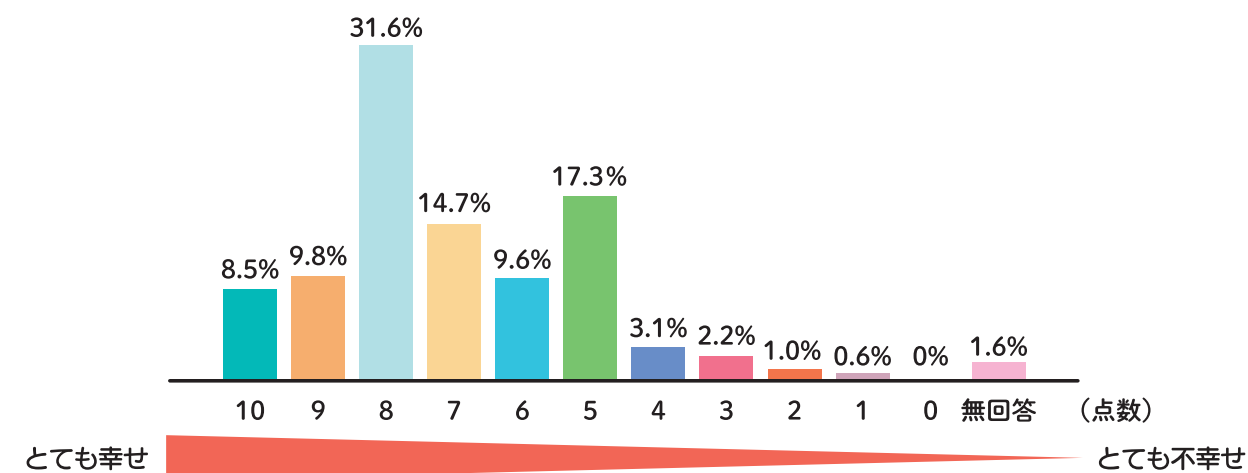
高めあい 魅力と挑戦にあふれるまち

- 農林水産業の振興
- 商工業・観光の振興 など

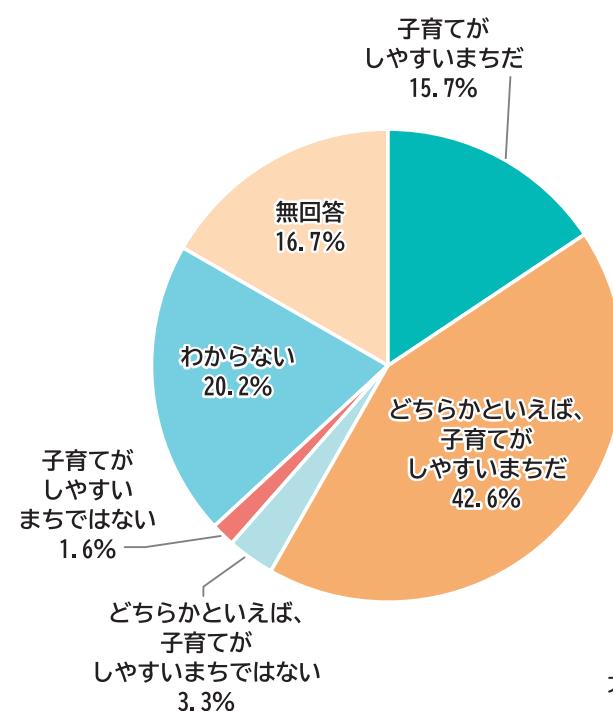


アンケート結果

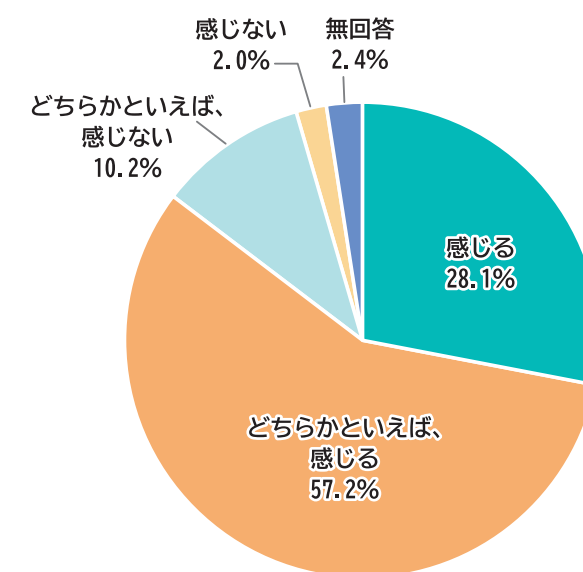
○ 幸せだと感じる割合（平均点 7.1）



○ 子育てがしやすいと感じる割合



○ 湯梨浜町が、住み良いまちだと感じている割合



アンケートは18歳以上を年代に分けて実施し、回収数は491名（回収率32.7%）

土地利用の方向性

- ① 災害に強く、安全で安心な土地利用を図ります。
- ② 周辺市町との連携など、広域的な視点から見た土地の有効利用を図ります。
- ③ 本町の持つ歴史・文化的風土の保全や、自然的・社会的条件を踏まえた個性ある景観の創造を図ります。

- ④ 低・未利用地および耕作放棄地等の有効利用を図ります。
- ⑤ 地球規模で環境への関心がある中、自然環境に配慮した持続的な発展が可能な土地利用を図ります。
- ⑥ 農用地、森林の持つ多面的な公益的機能の維持を図ります。
- ⑦ 農用地、森林、原野、宅地等の相互の土地利用の転換は、自然生態系や周囲の土地利用状況などを考慮し、慎重なる配慮のもとで計画的に行います。

湯

梨



まちづくり企画課

鳥取県東伯郡湯梨浜町大字久留19-1
電話番号 0858-35-5304
E-mail: ykikaku@yurihama.jp

発行：令和8年3月

浜